伊藤先生の
街かど診療室 Q&A

コンタクトレンズについて

眼科といえばコンタクトレンズ、コンタクトレンズといえば昔は眼科、今はインターネット・駅近量販店という印象でしょうか。最初に断っておきますが、当院ではコンタクトレンズは扱っておらず、コンタクトレンズの相談・処方が多いのでしょうか。

失明に至るぐらいの大変な状況を引き起こす角膜潰瘍は、いろいろな菌や寄生虫に原因があり、治療に苦慮する場合があります。ただ、コンタクト自体に対するアレルギーは使用を制限・中止しなければなりません。現在のコンタクトレンズのほとんどの洗浄法は、コールド洗浄という、薬品を使用する方法ですが、これに端を発してアレルギーを発症し、ズレる、腫れる、傷がついて見づらい等の症状を呈します。アレルギーの治療および治療後は1日タイプのコンタクト使用が必須ですが、なかなか実践できていない現状に悩む眼科医も多いのではないかと思います。

コンタクトレンズは、使用法さえ問題なければ非常に簡便な視力矯正用具ですが、その簡便さゆえ眼科受診せず、重篤な合併症を呈して受診する場合も見られます。また、眼科受診を定期的に受けても、トラブルを起こす場合もありますが、使用法の適正化で予防できます。

伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
http://www.itoganka.com/
■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療
■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応　※月・水曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～12:30	○	○	○	／	○	○	／
14:00～17:00	検査予約優先	手術	検査予約優先	／	手術	／	／